

期間 令和6年1月29日～2月16日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2		部屋のレイアウト等に工夫し、安心できたり、資格の少なくなるような配置にしたりしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			管理者兼児童指導員1名、児童発達支援管理責任者1名、保育士1名、必要に応じて児童指導員1名が配置されている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2		外にスロープがあり、事業所内も段差は無い。トイレにも手すりが付いている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	2		問題があった時にはその都度話し合いをし、改善につなげている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	2		年に一回アンケートをとり、業務改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	2		法人のホームページに掲載し公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3		実地指導にて評価を受け、結果を業務改善に繋げている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			案内やお知らせなど来た際には要綱を回覧し、参加の機会を確保している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			アセスメントの際に、目標に対する達成状況や気になる点を伝え、保護者のニーズや課題に合わせて計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		共通したアセスメント用紙を使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1		活動プログラムに関して協力して支援を行い、フォローし合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			季節を感じる活動や、新しい活動を取り入れながら、固定化することの無いよう工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1		利用時間に合わせて、スケジュールや時間配分を変更し、その時々に合わせて支援をするように心がけている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		課題点に合わせて、個別的な支援が必要なのか、集団的な支援が必要なのかを考え、計画の作成をしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	2	1	一部の職員に負担がかかる場合があるので、曜日ごとの責任者を明確にしていきたい。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	1	3		毎日の振りかえりの時間がとれていない為、何らかの方法で共有できるようにしていきたい。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			毎日、記録をとることで、職員間で情報を共有し、検証や改善につなげている。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			6ヶ月後に一回、必要時にはその都度モニタリングを行い、計画を見直している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	2		グループ活動や個人活動において行っている。また長期休暇に地域の祭りやお店に行っている。
	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1		計画作成者の児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			利用予定を共有したり、送迎時に必要に応じて情報の共有や連絡調整をようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1		必要に応じて、保護者と話し合い、連絡体制を整えるようにしている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		3	1	就学前の情報が情報共有されている場合とされていない場合があるが、今年度は就学児が居なかった。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2		事前に次の施設と連絡をとったり訪問し、不安なく過ごせるよう、個別支援計画にも取り込んでいる。今年度は移行の対象となる方が居なかった。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2		2	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携がしっかりと出来ていない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	3	利用時間の問題もあり、交流は難しいが、長期休暇等に外出活動（買い物体験や、地域の公園に行く等）を取り入れている。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			連絡帳で伝えつつ、送迎時など保護者の方と対面した際に、その日のエピソードや気になる点があれば伝えるようにしている。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	2	ペアレントトレーニング等の支援の機会を設けることができなかった。今後については、出来る範囲内での支援を検討していきたい。
	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			見学や契約時にパンフレットや重要事項説明書等で行っている。
保護者への説明責任等	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			事業所としてできること、必要な助言を伝え、他の職員にも報告をしている。応えの不足分があった場合は、保護者に伝えるようにしている。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	3	サッカー教室等の法人での交流の機会の案内はしているが、保護者会等の開催予定はない。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情管理責任者を配置し、マニュアルを掲示している。些細な事でも真摯に受け止め、改善できるよう努めている。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③③	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		4		活動予定や長期休暇の様子の写真等の提供はしているが、定期的な会報等はなく、十分な発信が出来ているかが課題。
	③④	個人情報に十分注意しているか	3	1		書類は書庫に保管するなど、個人情報には十分注意している。
	③⑤	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			障害の有無に関係なく、利用の方に合わせて方法は調整している。
	③⑥	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	3	地域交流の場が、全くないので今後検討していきたい。
非常時等の対応	③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1		職員間では周知できているが、保護者まで周知できていない点が今後の課題と感じた。
	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1		嘉百合園、ひめゆりケアルームと合同で行っている。
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			年間で虐待に関する職員研修を行っている。
	④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放	3	1		身体拘束は行っていない。
	④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1		医師の指示書は無いということで母親の指示の元、対応している。
	④⑫	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2		気になる点はその都度情報共有しているが、記録として残す内容が不明瞭なので、基準を決める必要がある。